

# 研 究 発 表

— 講演, 口演, シンポジウム, 示説 —

演 題	発 表 者	学 会 名	場 所	年 月 (西暦)
<b>婦 人 検 診 部</b>				
Endometrial cytology - Usefulness of the targeted population screening for endometrial carcinoma.	Kuramoto, H.	12th Thai-Japanese Workshop in Diagnostic Cytopathology	Chiang Mai, Thailand	2006.1
Screening of carcinoma of the cervix.	Kuramoto,H.,Okajima,H.,Noda,N.,Iida, M. & Iwami,Y.	3rd Japan-China Cytology Symposium	Guilin, China	2006.11
産婦人科におけるレーザー医療、特に子宮頸癌の妊よう性温存療法について -北里での四半世紀の経験から-。シンポジウム「QOLを目指した産婦人科領域のレーザー医療」。	金井督之、脇田邦夫 泉 貴文、蔵本博行	第18回日本レーザー治療学会	諏訪	2006.7
New prognostic factors of endometrial carcinoma and preoperative prediction of the patients' prognosis.	Kuramoto, H., Watanabe, J., Jobo, T., Nishimura, Y.	1st Ajou International Symposium on translational research of endometrial carcinoma.	Korea	2006.8
SurePath法による子宮内膜細胞診—術前予後判定法への応用—。ワークショップ3「液状処理細胞診の発展と応用」。	西村由香里、渡辺 純、上坊敏子、服部 学、蔵本博行、岡安 勲	第45回日臨細胞学会秋期大会	東京	2006.11
PR遺伝子導入子宮内膜癌細胞へのprogesterin 効果およびその作用機序の解析。	川口美和、渡辺 純、上坊敏子、浜野美恵子、角田新平、新井正秀、今井 愛、新井 務、蔵本博行、海野信也	第58回日産婦総会	横浜	2006.4
腹腔細胞診は早期子宮体癌の予後因子となるか。	鈴木光明、高橋佳容子、嵯峨 泰、高野貴弘、藤原寛行、大和田倫孝、今井 愛、上坊敏子、蔵本博行、海野信也	第58回日産婦総会	横浜	2006.4
車集検により発見された子宮内膜癌9例の検討。	宮川 潤、岩見美子、加藤ちづ代、坂野みどり、堀真須子、菅原 隆、飯田萬一、岡島弘幸、野田信之、蔵本博行	第25回日臨細胞学会神奈川支部学術集会	横浜	2006.9
上皮性卵巣癌に対するDocetaxelとCisplatin併用(DP)療法による初回化学療法が多施設共同臨床試験— DP療法研究会—。	青木大輔、進 伸幸、渡部 洋、星合 昊、牛島公生、嘉村敏治、蔵本博行、上坊敏子、斎藤 豪、寒河江悟、石塚文平、木口一成、鈴木 直、長谷川清志、宇田川康博、太田博明、磯西成治、青木類、落合和徳、大橋靖雄、野田起一郎、野澤志朗	第44回日本癌治療学会	横浜	2006.10
HPV Genotypeと子宮頸部病変との関連。	二井美津穂、角田新平、川口美和、上坊敏子、渡辺 純、岡安 勲、蔵本博行、西村由香里、渡邊佳代子、海野信也	第45回日臨細胞学会秋期大会	東京	2006.11

演 題	発 表 者	学 会 名	場 所	年 月 (西曆)
子宮内膜癌におけるDNAミスマッチ修復破綻—タンパク発現消失はメチル化による。	渡辺 純、西村由香里、蔵本博行、岡安 勲	第96回日本病理学会総会	大阪	2007.3
婦人科系を中心としたがんの動向	蔵本博行	健康あつぎ普及員研修会	厚木	2006.4
子宮がん検診と子宮の保存療法	蔵本博行	(財)神奈川県予防医学協会中央診療所セミナー	横浜	2006.5
<b>放 射 線 技 術 部</b>				
胸部X線検査と予防医学への取り組み	萩原 明	第62回日本放射線技術学会学術大会	横浜国際会議場	2006.4
当施設におけるマンモグラフィ検診車の精度管理—第2報—	三好恭子	第16回日本乳がん検診学会総会	仙台国際センター	2006.11
デジタルマンモグラフィ技術は向上したか	萩原 明	放射線技術セミナー	名古屋	2006.11
30回を迎える研究会の歩み	萩原 明	第30回神奈川乳房画像研究会・第7回神奈川乳房超音波画像研究会	神奈川県鶴見大学	2006.12
放射線技師分野・工学分野からの提言	津田雪裕	第14回日本CT検診学会学術集会	大阪国際会議場	2007.2
確かな技術と読影そして情熱—格差の無い胃がん検診を目指して—	見本真一	第39回消化器がん検診学会関東甲信越地方会放射線部会	神奈川県民ホール	2007.2
一般演題	植村博次	第39回消化器がん検診学会関東甲信越地方会放射線部会	神奈川県民ホール	2007.2
<b>臨 床 検 査 部</b>				
先天性甲状腺機能低下症スクリーニングにおける問題点とその対策	山上祐次	平成18年度先天性代謝異常症等検査技術者研修会	東京	2006.6
車集検により発見された子宮内膜腺癌9例の検討	宮川 潤、岩見美子、加藤ちづ代、坂野みどり、飯田萬一、岡島弘幸、野田信之	日本臨床細胞学会神奈川県支部学術集会	横浜	2006.9
糖尿病性腎症患者における血清ニトロチロシン測定の意味	石井直仁、池永秀樹、高田信和、広渡祐史、鈴木英夫、岡崎登志夫、青木芳和、片桐真人	日本臨床検査医学会【臨床病理 54(補), 146(2006)】	弘前	2006.11
ノロウイルス検査におけるLAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法とリアルタイムPCR法との比較検討	金子治司、宮内喬子、間島勝徳(協会) 古屋由美子、宮原香代子(神奈川県衛生研究所)	神奈川県公衆衛生学会	横浜	2006.11
神奈川県における学校腎疾患検診システムの現状と課題	金子治司	第55回神奈川県医学検査学会	横浜	2007.11
ノロウイルス検査におけるLAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法とリアルタイムPCR法との比較検討	金子治司、宮内喬子、間島勝徳	第41回予防医学技術研究集会	新潟	2007.2
乳腺穿刺吸引細胞診における液状細胞処理法の検討	坂野みどり、岩見美子、加藤ちづ代、堀真須子、菅原 隆、宮川 潤、飯田萬一、有田英二	第41回予防医学技術研究集会	新潟	2007.2
腹部超音波検査における初回受診者と継続受診者について	桜井 諭、竹中志津子、間島勝徳、石野順子、黒川 香	第41回予防医学技術研究集会	新潟	2007.2

演 題	発 表 者	学 会 名	場 所	年 月 (西暦)
<b>消 化 器 検 診 部</b>				
大腸がん検診の底力	石野順子	一般検査セミナー 2006Eiken	東京	2006.11
<b>環 境 科 学 部</b>				
神奈川における化学物質管理の現状について	芦田敏文	日本作業環境測定協会神奈川支部 技術研修会	横浜	2007.3
<b>健 康 創 造 室</b>				
Y市職員生活習慣病改善セミナー(第1報)～ライフコーダを用いた支援プログラム～	本園智子、小林辰也、星 貞裕、朝山光太郎	第52回神奈川県公衆衛生学会	横浜市	2006.11
Y市職員生活習慣改善セミナー(第2報)～解析結果とその効果～	小林辰也、本園智子、星 貞裕、朝山光太郎	第52回神奈川県公衆衛生学会	横浜市	2006.11
いせはら健康モデル事業「高齢者ヘルスアップサポート事業」の取り組みと一考察～厚生労働省・国保中央会モデル事業「らくらく講座」の試み～	星 貞裕、船崎隆文、本園智子、小林辰也	第52回神奈川県公衆衛生学会	横浜市	2006.11
<b>精 密 総 合 健 診 部</b>				
運動教室における中高年男性の動脈硬化指標CAVIの変化	小野寺由美子、菊池美也子、他6名	第47回日本人間ドック学会学術大会	沖縄	2006.9
<b>産 業 保 健 部</b>				
小児生活習慣病としての肥満とメタボリックシンドロームの考え方	朝山光太郎	平成18年度香川県小児科医会春期学術集会／総会	高松	2006.4
メタボリックシンドロームの予防と改善	朝山光太郎	神奈川県栄養士会研修会：ウィリング横浜(上大岡)	横浜	2006.10
子どもの発育異常と治療法について～成長曲線をつけよう	朝山光太郎	第6回横浜市西部地区子ども健康フォーラム	横浜	2006.10
小児肥満の病態と治療法	朝山光太郎	練馬区医師会保育園保健講習会：練馬公民館	東京	2006.12

---

 著書，論文，報告書
 

---

演 題	発 表 者	誌名(巻・ページ)	年 月 (西暦)
<b>婦 人 検 診 部</b>			
神奈川県における子宮がん検診35年の成績と検診の有効性について	岡島弘幸	日本臨床細胞学会神奈川県支部会誌 第11巻1号 P 1 - 12	2006.7
子宮頸がん検診における細胞剥離防止スライドの試用について	岡島弘幸、飯田萬一、岩見美子	予防医学 第48号 P 109 - 110	2006.12
Medroxyprogesterone acetate stimulates cdk inhibitors,p21 and p17, in endometrial carcinoma cells transfected with progesterone receptor-B cDNA.	Kawaguchi, M., Watanabe, J., Hamano, M., Kamata, Y., Arai, T., Nishimura, Y., Obokata, A, Jobo, T. & Kuramoto, H.:	Eur. J. Gynaec.Oncol., 27 (1): 33 - 38,	2006

演 題	発 表 者	誌名 (巻・ページ)	年 月 (西暦)
Optimal dose for stage IIIB adenocarcinoma of the uterine cervix on the basis of biological effective dose.	Niibe, Y., Hayakawa, K., Kanai, T., Tsunoda, S., Arai, M., Jobo, T., Kuramoto, H. & Unno, N.	Eur. J. Gynaec.Oncol., 26 (1): 47-49,	2006
c-kit overexpression in neuroendocrine small cell carcinoma of the uterine cervix.	Ohwada, M., Wada, T., Saga, Y., Tsunoda, S., Jobo, T., Kuramoto, H., Konno, R. & Suzuki, M.	Eur. J. Gynaec.Oncol., 27 (1): 53-55,	2006
Clear cell adenocarcinoma of the endometrium is a biologically distinct entity from endometrioid adenocarcinoma.	Arai, T., Watanabe, J., Kawaguchi, M., Kamata, Y., Nishimura, Y., Jobo, T. & Kuramoto, H.	Int J. Gynecol. Cancer, 16: 391-395,	2006
Significance of p27 as a predicting marker for medroxyprogesterone acetate therapy against endometrial endometrioid adenocarcinoma.	Watanabe, J., Watanabe, K., Jobo, T., Kamata, Y., Kawaguchi, M., Imai, M., Okayasu, I. & Kuramoto, H.	Int. J. Gynecol. Cancer, 16(suppl. 1): 452-457,	2006
Angiopoietin-1, 2 and Tie2 expressions in endometrial adenocarcinoma - the Ang2 dominant balance up-regulates tumor angiogenesis in the presence of VEGF	Saito, M., Watanabe, J., Fujisawa, T., Kamata, Y., Nishimura, Y., Arai, T., Miyamoto, T., Obokata, A. & Kuramoto, H.	Eur. J. Gynaec. Oncol., 27 (2): 129-134,	2006
Neuroendocrine features in poorly differentiated endometrial adenocarcinomas of the endometrium.	Tamura, T., Jobo, T., Watanabe, J., Kanai, T. & Kuramoto, H	Int. J. Gynecol. Cancer, 16 (2): 821-826	2006
Thinlayer法による子宮内膜細胞診—治療前予後判定への有用性—	西村由香里、渡辺純、上坊敏子、川口美和、新井努、服部学、岡安勲、蔵本博行	日臨細胞誌、45(4): 242-249,	2006
Is peritoneal cytology a prognostic factor of endometrial cancer confined to the uterus?	Saga, Y., Imai, M., Jobo, T., Kuramoto, H., Takahashi, K., Konno, R., Ohwada, M. & Suzuki, M.	Gynecol Oncol., 103: 277-280,	2006
子宮内膜細胞診の新しい展開	蔵本博行、西村由香里	日臨細胞茨城県支部会誌、(20): 9-25,	2006
産婦人科におけるレーザー医療、特に子宮頸癌の妊よう性温存療法について—北里大学での四半世紀の経験から—	蔵本博行、金井督之、脇田邦夫、泉 貴文	日レーザー治療会誌、5(2): 115-118,	2006.12
<b>臨 床 検 査 部</b>			
Impact of angiotensin-converting enzyme inhibition on renal cortical nitrotyrosine content during increased extracellular glucose concentration.	Ishii N., Ikenaga H., Carmines P.K., Takeda N., Okazaki T., Nagai T., Maeda T., Aoki Y., Saruta T., Katagiri M.	Clin. Biochem. 39, 633-639 (2006)	2006.4
臨床検査値に及ぼす生活習慣(特に食事、飲酒、喫煙との関係)	青木芳和	臨床検査, 50, 1009-1013 (2006)	2006.9
わが国のスクリーニング外部精度管理システムへのプラインドサンプル導入について	鈴木恵美子(日本公衆衛生協会)、平原史樹(横浜市立大学院産婦人科)、山上祐次	わが国の21世紀における新生児マススクリーニングのあり方に関する研究 P172-174, 平成18年度総括・分担研究報告書	2007.3
濾紙血TSH, freeT4 同時測定によるクレチン症マススクリーニング—当院における5年間の結果—	伊藤尚志、横田行史、田久保憲行(北里大学医学部小児科)、山上祐次	日本マス・スクリーニング学会誌、第16巻、3号、P45-51	2007.3

演 題	発 表 者	誌名 (巻・ページ)	年 月 (西暦)
<b>環 境 科 学 部</b>			
座談会「動き出した！改正労働安全衛生法」	芦田敏文	安全衛生コンサルタント, Vol. 26, No. 79, P 8 - 34	2006. 7
この人に聞く 山田親久氏～放射線医学から産業保健に転進して20有余.～	芦田敏文	作業環境, Vol. 27, No. 5, P 4 - 19	2006. 9
平成18年度支部通常総会を開催	芦田敏文	かもめ, No. 33, P 6 - 7	2006. 9
建材製品中の石綿分析について	張江正信、高田百合子、飯田 孝、芦田敏文	予防医学 第48号, P129 - 136	2006. 12
平成18年度作業環境測定評価推進大会を開催	芦田敏文	かもめ, No. 35, P 4 - 5	2007. 3
<b>放 射 線 技 術 部</b>			
胸部X線検査と予防医学への取りくみ	萩原 明	日本放射線技術学会雑誌・ 第63巻 2号 P209～P223	2007. 2
神奈川県における会員制通常型CT検査の追跡調査	岡本直幸 田中利彦	厚生労働省科学研究費補助金 P 377 - 381 第3次対がん研究 (CT肺がん検診、鈴木班)	2006. 4
肺癌CT検診受診者コホートの追跡調査	田中利彦	日本がん検診・診断学会誌 2006P167 - 171 Vol.13, No2	2006
CT検診10年間の考察	田中利彦 金岩清雄他	予防医学 P 119 - 121	2006. 12
CR・DRシステムにおける最適な胸部エックス線画像とは	伊藤春海 田中利彦他	労働衛生管理 P 54 - 59 Vol.18.No.1	Jan-07
CT発見肺がん患者の予後に関する要因分析	田中利彦 岡本直幸	日本がん検診・診断学会誌 P 63 Vol.14.No.1	2006
<b>産 業 保 健 部</b>			
新しい自己採血法「拇指球採血法」とその検査精度の検証	蒲浦光正、大野弘子、今井和貞 川上ちひろ、岡本直幸、朽久保修	臨床病理 54(7) : 671 - 678,	2006
N-acetylcysteine attenuates TNF-alpha induced changes in secretion of interleukin-6, plasminogen activator inhibitor-1 and adiponectin from 3T3-L1 adipocytes.	Araki S, Dobashi K, Kubo K, Yamamoto Y, Asayama K, Shirahata A.	Life Sci. 79 : 2405 - 2412,	2006
High molecular weight, rather than total, adiponectin levels better reflect metabolic abnormalities associated with childhood obesity.	Araki S, Dobashi K, Kubo K, Shirahata A.	J Clin Endocrinol Metab. 91 : 5113 - 5116,	2006
特集：小児の生活習慣病：認知行動療法の考え方と実際	朝山光太郎	小児看護 29(6) : 714 - 718,	2006
小児疾患の診断治療基準第3版：栄養・栄養性疾患：肥満	朝山光太郎	小児内科 38(増刊号) : 96 - 97,	2006
特集：小児高脂血症の管理：続発性高脂血症とその管理	土橋一重、朝山光太郎	Lipid 17 : 30 - 34,	2006
小児の治療指針 リポ蛋白代謝異常症	土橋一重、朝山光太郎	小児科診療69(増刊号) : 556 - 558,	2006
小児高脂血症の薬物療法	土橋一重、朝山光太郎	小児科47 : 1241 - 1247,	2006
特集 小児肥満とメタボリックシンドローム 小児肥満症の診断基準	荒木俊介、土橋一重、朝山光太郎	小児内科38 : 1523 - 1527,	2006